

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2020年 5月18日	
愛知県知事 殿	
提出者 444-0023 住 所 愛知県岡崎市両町3丁目56番地 氏 名 三共コンクリート(株) 代表取締役 鋤柄 隆志 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0564-24-2658	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三共コンクリート(株) 安城工場
事業場の所在地	愛知県安城市宇頭茶屋町52
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21. 窯業・土石製品製造
②事業の規模	4423万円
③従業員数	14名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	戻りコンクリート⇒硬化⇒処理業者に委託⇒破碎⇒埋立・再利用

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社 ↓ 工場長（廃棄物処理統括責任者） ↓ 担当（排出事業者）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	
	排 出 量	3 1 1 4 t	t
	(これまでに実施した取組) コンクリート二次製品を製造する。 戻りコンクリートが多量に発生したときは、処理代金を請求する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	
	排 出 量	3 0 0 0 t	t
	(今後実施する予定の取組) コンクリート二次製品を製造する。 戻りコンクリートが多量に発生したときは、処理代金を請求する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	
	全 処 理 委 託 量	3114 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	3114 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
コンクリートガラを処理したものを、リサイクル材として系列会社（三共ブロック工業所）にて、RC-40（リサイクル材）として販売している。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	
	全 処 理 委 託 量	3 0 0 0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3 0 0 0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	戻りコンクリートが多量に出たときは、処理代金を請求することで、減らしていきたい。		
※事務処理欄			